

## 明石市立あかしユニバーサル歯科診療所の運営状況について

昨年6月8日に明石市立あかしユニバーサル歯科診療所がオープンし、9か月が経過しました。従前、総合福祉センター内において運営していた明石市立休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所が、明石市立市民病院の敷地内に移転したのですが、診療体制の充実等によるこれまでの運営状況についてご報告します。

### 1 業務概要

- (1) 業務内容
  - ① 一般の歯科診療所での治療が困難な者の歯科診療及び歯科相談
  - ② 休日の歯科応急診療
- (2) 診療体制 常勤の歯科医師、歯科衛生士を配置
- (3) 診療日
  - ① 障害者等歯科診療は週2日を月～土に拡充
  - ② 日曜・休日・年末年始は従来どおり応急診療を実施



<外観> (右が歯科、左は市民病院)



<診療室>

### 2 運営状況

- (1) 診療実績 (2020年6月～2021年1月)

#### ア 障害者等診療

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
延べ患者数 (人)	2020	159	188	198	242	296	252	272	262
	2019	94	101	86	99	107	86	93	88
初診患者数 (人)	2020	29	34	20	27	24	20	21	16
	2019	0	3	5	1	3	4	1	4
診療報酬額 (千円)	2020	2,202	2,511	2,690	3,812	4,391	3,600	3,714	3,997
	2019	1,210	1,178	985	1,237	1,270	1,016	1,071	1,058

- ① 患者数(初診患者数)が増加

新型コロナウイルス感染症の拡大で、歯科治療においても受診を控える傾向にあるなか、診療体制の強化等により患者数は前年度の約2～3倍増で推移しています。

特に初診患者数が大幅に増加しており、うち半数は地域の一般開業歯科医からの紹介によるもので、症状が一定改善した後は再度かかりつけ医で治療が継続される

ケースもあるなど、かかりつけ歯科医を後方支援する円滑な連携が図られています。

② 全身麻酔治療の開始

障害当事者団体等から多くの要望があった全身麻酔治療を8月から開始(週1回)しました。

イ 休日応急診療

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
患者数 (実施日数)	2020	5人 (3日)	10人 (6日)	21人 (6日)	22人 (6日)	10人 (4日)	15人 (7日)	54人 (7日)	48人 (8日)
	2019	24人 (5日)	8人 (5日)	23人 (5日)	33人 (7日)	10人 (6日)	15人 (6日)	86人 (7日)	75人 (8日)
診療報酬額	2020	33千円	103千円	191千円	168千円	90千円	116千円	437千円	436千円
	2019	212千円	74千円	198千円	342千円	88千円	135千円	789千円	644千円

○ 前年度との比較においては、休日数の違いもありますが、今年度はコロナ禍における受診控え、外出控えが影響しているものと考えられます。

(2) 明石市立市民病院との連携

市民病院の敷地内に位置することを活かした医科歯科連携を推進しています。

<連携内容>

- ・ 歯科診療の前検査に必要な血液検査を市民病院が行い、短時間で分析結果がフィードバックされています。
- ・ 全身麻酔治療において前日からの入院が必要な患者を、市民病院が受け入れています。
- ・ 市民病院の外来患者で診断がつかない場合に、状態に応じて依頼に基づき歯科診療を実施します。
- ・ 市民病院に入院中の、周術期の患者に対する口腔機能管理がスタートしました。

(3) 市内歯科スタッフの障害者理解の醸成

あかしユニバーサル歯科診療所のスタッフはもとより、市内に勤務する歯科スタッフの障害者理解を深めるため、オンラインによるユニバーサルマナー研修を実施し、今年度は約150名が参加しました。

3 新年度の取り組み

- (1) 障害者等歯科診療は、一般治療、全身麻酔による治療のいずれも予約状況は順調であり、引き続き、質の高い歯科診療を提供します。
- (2) 一般開業歯科医との、役割分担を踏まえたさらなる連携の構築に努めます。
- (3) 全身麻酔治療は、実施回数を週1回から週2回とし、症例数を増やします。
- (4) 市民病院との医科歯科連携において、周術期等の口腔機能管理を本格的に実施していくほか、市民病院からの緊急的な診療依頼にも応えていきます。
- (5) 歯科スタッフを対象とした、障害者診療等に資する研修内容を検討します。